

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	植草学園大学	学部・学科名 ※	発達教育学部	発達支援教育学科
科目名 ※	バイオリテラシー入門		単位数 ※	2単位
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	木曜 1限	
キャンパス※	小倉キャンパス	教室※	基礎医学実習室	
学修分野	教養教育科目（基礎科目）			
授業目的 ※	人間や社会に対する理解や生命の尊厳について深く認識し，高い道德心と倫理観をもって行動できる。			
到達目標	1.生き物や生命現象についての基本的な知識を習得する。 2.生物の中に潜む法則性と生物間の多様性について、多様な側面から考えることができるようになる。 3.日常の生活と,生物学との係わりや意義について理解できるようになる。			
授業内容 授業形態 ※	第1回 ガイダンス(目標1,2,3) 第2回 細胞の構成成分1(炭水化物の種類と分子構造)(目標1,2,3) 第3回 細胞の構成成分2(タンパク質の種類と分子構造)(目標1,2,3) 第4回 細胞の構成成分3(脂質・核酸の種類と分子構造)(目標1,2,3) 第5回 細胞の構成成分4(ミネラルの種類)(目標1,2,3) 第6回 消化の仕組み(人は何故お腹がすくのかを考えていく。)(目標1,2,3) 第7回 糖代謝(目標1,2,3) 第8回 タンパク質・脂質の代謝(目標1,2,3) 第9回 生物の進化と分類(目標1,2,3) 第10回 動物の進化と分類(目標1,2,3) 第11回 脊椎動物の進化と分類 1 (目標1,2,3) 第12回 脊椎動物の進化と分類2（恐竜をがどのように進化していったのかを探ることで、爬虫類の進化と分類について）（目標1,2,3） 第13回 哺乳類の進化と分類 1（哺乳類全般の進化の新しい考え方）（目標1,2,3） 第14回 哺乳類の進化と分類 2（哺乳類ありながら陸上から水中に生息場所を戻した鯨について）（目標1,2,3） 第15回 棘皮動物の進化と分類(目標1,2,3)			
評価方法 ※	期末試験（70％），平常点（10％），ポートフォリオ・レポート等（20％）の総合評価とする。			

評価基準	1.生き物や生命現象についての基本的な知識を習得できたか。 2.生物の中に潜む法則性と生物間の多様性について、多様な側面から考えることができたか。 3.日常の生活と,生物学との係わりや意義について理解できたか。
テキスト	教科書は用いない。必要な資料等を授業中に配布する。
注意事項	生物学に基礎について、日常生活との関係から理解し、それに基づいて判断できるような資質の獲得を目指す。また、関連する分野の広い生物学全体を俯瞰したり、自分なりの生命観を持てるようになる。 対面での授業が見込める場合は、コロナ対策のため、基礎医学実験室に収容可能な36人を上限とする。
授業シラバス	https://118.21.56.20/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学短期大学部	学部・学科名 ※	ビジネスライフ学科
科目名 ※	歴史からみる人間の経済Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	木曜 1 時限
キャンパス※	千葉経済大学短期大学部	教室※	402
学修分野	卒業認定・学位授与の方針中のキャリアアップステージに位置づけられる。		
授業目的 ※	この講義では、経済人類学的アプローチから人間の経済の歴史を学んでいきます。我々の経済を広い視点から見直し学びを深めていくことによって、あるべき経済の姿について考えていきます。壮大な人類史と一緒に学ぶことによって、思考の枠組みを押し広げることが期待されます。皆さん自身がこれからの経済の仕組みを展望しヴィジョンを描いていくために、歴史という観点から経済について学んでいきましょう。歴史からみる人間の経済Ⅰでは、未開経済を出発点として市場社会の発生までを学習していきます。		
到達目標	①経済の歴史についての基礎知識を習得する。 ②ビジネスシーンで活用できる経済史の知識を習得する。		
授業内容 授業形態 ※	第1回 イン트로ダクション 第2回 未開経済の仕組みと人間の生活① 第3回 未開経済の仕組みと人間の生活② 第4回 未開経済の仕組みと人間の生活③ 第5回 農業革命① 第6回 農業革命② 第7回 古代社会における市場の役割 第8回 慣習化された生活様式と絶えない紛争の世界―中世①― 第9回 慣習化された生活様式と絶えない紛争の世界―中世②― 第10回 国民国家の形成 第11回 交易の拡大と略取によるグローバリズムの展開 第12回 貨幣と富の蓄積 第13回 労働力と土地の商品化によるコミュニティの破壊 第14回 科学技術革命と機械の登場 第15回 まとめ 講義形式で進めていきますが、資料読解やディスカッションの機会を多くつくり受講生の参加意欲を高めていきます。		
評価方法 ※	期末試験（70％）と中間レポート（30％）により総合評価をおこないます。中間レポートは講評するので、振り返りに利用してください。		

評価基準	
テキスト	教科書は使用しません。授業時にプリントを配布します。
注意事項	1週間のうち120分の予習と120分の復習時間をとること。
授業シラバス	https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/Syllabus.asp?cdga=2&nendo=2022&cdbl=1990

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	現代ラテンアメリカ研究Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	木 1
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	ラテンアメリカは、一方では多くの共通した面を持ちながらも、他方では独自性を有する地域です。地域としてのラテンアメリカを、自然環境、人種構成、社会、文化構造などの観点から多面的にアプローチし、ラテンアメリカ地域を総合的かつ体系的に学びます。 より専門的なラテンアメリカ地域文化研究、すなわちラテンアメリカの歴史、文化・文学、国際政治・経済、国際協力などについて、より研究を発展させる研究演習（ゼミナール）につなげる科目でもあります。 具体的には以下の内容にそって、適宜、映像や音声を取り入れながら授業を進めます。 This course provides an introduction to Latin American Natural Environment, Race and Ethnic groups (Meztizo, Amerindians, Black and Asian), Politics, Economy, Religion, Migration, Education, Tourism, Culture (Indigenous cultures and African cultures), Art (Muralism), Cinema, Literature, Music, and Dance.		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	最終レポート提出（45％：その他を参照）、中間レポート提出もしくはグループ発表（25％）、授業への貢献度(30%)を考慮して総合的に評価します。		
評価基準			
テキスト			
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。		
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	韓国語社会言語学Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	木 1
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	本講義は、社会的文脈におかれた言語使用の実態を明らかにしようとする立場、つまり社会言語学的な観点に立って、現代韓国語を分析しようとするものである。 The aim of these lectures is to analyze Modern Korean in terms of the actual usage of this language in social contexts; that is to analyze it in terms of sociolinguistics.		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	定期試験と授業への貢献度を考慮して総合的に評価する。		
評価基準			
テキスト			
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。		
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	淑徳大学	学部・学科名 ※	コミュニティ政策	
科目名 ※	民法（総則・物権法）		単位数 ※	2
開講学期※	2022年度 前学期	曜日・時限 ※	木曜2限	
キャンパス※	千葉キャンパス		教室※	15-201
学修分野				
授業目的 ※	法学の世界では、「民事法」とは、「刑事法」との対比で、私法の実体法である民法や商法等及び手続法である民事訴訟法等から構成される幅広い法領域を指します。特に、民法は、市民生活を規律する私法分野における基本的で市民生活に密接に関係する法律です。他の法学領域においても法的な考え方の基礎となる大切な法律でもあります。学生時代はもちろん社会人になっても不可欠な法的知識の多くが民法の条文や関連する判例に含まれているといえましょう。 もちろん民事法の全領域を講ずることは困難ですが、本講義では、「法律学概論」で培った知識や法的思考力を踏まえて、民法、特に総則・物権を中心に講義を行います（その他の民法領域は「債権法」の講義で行います（2020年4月より改正民法（債権法）が施行されました））。 民法は、総則、物権、債権、親族、相続の5編で成り立っており（こうした編纂方式を「パンデクテン方式」といいます）、計1050条あります。総則は、他の4編の共通する通則のことを指します。また、物権とは、所有権や占有権といった物に対する支配権に関する規定を指します。こうした分野を中心に、条文の内容を確認し、判例・学説の状況等について解説するとともに、問題事例を用いて法的なものの見方、考え方の習得を目的とします。しっかり民法の世界観に浸ってもらいます。			
到達目標	到達目標は、次の通りです。 第一に受講者が基本的な民法総則、物権法の知識（条文の正確な理解、解釈、最高裁判例の判旨内容等）を修得する。 第二に日常生活をはじめとした日常生活をめぐる紛争(トラブル)を解決でき、また紛争(トラブル)の発生を未然に予防する能力を修得する。併せて、民法上の法的思考力(リーガルマインド)を涵養させる。			
授業内容	民法全体を鳥瞰しながら、総則・物権法の具体的な条文や関連判例の解説を中心に講義（座学形式）を展開します。また、関連判例の事例を用いながら、ケースメソッド方式によることで知識の定着を目指します。なお、公務員試験問題や司法書士・行政書士試験、宅地建物取引主任士試験等の過去問を活用して理解を深めます。			

授業形態 ※	授業形態は新型コロナウイルス感染の状況に応じて変化する可能性があるため2つの授業形態別に記す。 新型コロナウイルス感染症の状況に応じて授業形態については変更があり得るが、ケースメソッドや受講生間のディスカッション等を適宜行う予定である。なお、弁護士や消費生活相談員等のゲスト講師を招聘する場合もある。 【遠隔授業】 配信授業動画等に関して学生の質問や意見を求める。そうした意見及び教員の見解を受講生全員で共有することにより、双方向型授業(アクティブラーニング)とする。 【対面授業】 基本的には講義形式の授業を行うが、アクティブラーニングの手法を活用する。学生から質問、意見を求めたり、学生によるプレゼンテーションの機会を設ける。 いずれの授業形態であっても、授業目標を達成するために、各回で取り上げるケースをもとにして、論点・争点の把握をはじめ、条文の基礎的理解を踏まえながら、論理展開(三段論法)等を学びます。なお、受講者は、指定テキストの該当頁を熟読し、予習する必要があります。適宜、ミニレポート、疑問メモ等を作成してもらいます。 また、適宜、ソクラテスメソッドや受講生同士のディスカッション等を行い、各受講生の法的思考力を向上させます。なお、アクティブラーニング(主体的・対話的で深い学び)として、各講義内容に関連した最高裁判例をテーマにして、Problem Based Learning(課題解決型学習)も行うとともに、弁護士等のゲスト講師とのディスカッションも予定しています。 なお、キャリア支援センター及び厚生労働省、千葉労働局、労働組合等の協力を得て、適宜、ゲスト講師との講義進行も行う予定です。 【実務経験のある教員による授業科目】 本科目は、実務経験のある教員による授業科目です。詳細は以下をご参照ください。国家公務員として、労働者を保護する立法に係る政策企画立案等に従事した経験を踏まえ、各労働法規に関する実務上の法的論点を解明し、今後の労働法政策のあり方等を講じている。独立行政法人職員として、裁判外紛争解決手続に係る法的紛争解決実務等に従事した経験を踏まえ、民事事件(労働事件)に関する紛争処理手続上の法的論点を講じている。
評価方法 ※	試験、レポート、小テスト、平常点(リアクションペーパーの提出・発言等)を総合的に考慮して評価します。
評価基準	民法、特に総則・物権法に関する制度・概念の正確な理解、要件・効果の的確な把握、推論のための基本的手法の修得ができているかを評価基準とします。 具体的な評価の配分としては、試験については50点、レポートについては20点、小テストについては20点、平常点(事前事後学習の実施状況、リアクションペーパーの提出状況、講義内での発言等)については10点とします。 なお、平常点には各講義の出席率は考慮しません(いうまでもなく、単位認定の前提となります)。

テキスト	ISBN：9784419067670, 「民法への招待〔第6版〕」,池田真朗, 税務経理協会, 2020年 なお、「ポケット六法（令和4年度版）」等、小型六法を用意しておくことが望ましい。
注意事項	1年次必修科目である「法律学概論」の単位を修得済であることが望ましい。また、今学期における他の法律科目（憲法等）の履修も望ましい。
授業シラバス	「ログイン画面へ」のボタンをクリックし、「ゲストユーザー」の文字をクリック、「シラバス照会」をクリックするとシラバス検索ができます。 https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学短期大学部	学部・学科名 ※	ビジネスライフ学科
科目名 ※	健康科学概論 (β h)	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	木曜 2 時限
キャンパス※	千葉経済大学短期大学部	教室※	204
学修分野	卒業認定・学位授与の方針中の基礎科目に位置づけられる。		
授業目的 ※	より望ましいライフスタイルを獲得するための知識を学びます。 特に、青年期というライフステージに必要な健康に関する知識を学んで行きます。		
到達目標	・健康とは何か？どのような状態をさすのかを理解する。 ・食事、運動（含む外傷、予防）、睡眠等に関する正しい知識を獲得する。 ・健康なライフスタイルを獲得するための様々な知識を獲得する。		
授業内容 授業形態 ※	第1回 オリエンテーション、健康とは/ W.H.O.の世界保健憲章（前文）に見る「健康」 第2回 「体育」の定義/「知育」「徳育」「体育」と三育主義。 第3回 「体力」の定義/防衛体力と行動体力、体力の構成要素 第4回 様々な指数 (1)/ BMIによって何が評価できるのか。指数を算定・評価します 第5回 様々な指数 (2)/ カウプ指数、ローレル指数によって何が評価できるのか。指数・評価を算定します 第6回 様々な指数 (3)/ ブリンクマン指数によって何が評価できるのか。指数算定・評価します 第7回 水分補給量/生活やスポーツ時に必要な水分量を算定します 第8回 身体の構造と機能(1)/ 骨、関節、筋肉の構造と機能について学びます 第9回 身体の構造と機能(2)/ 神経系の働き、乳幼児期における神経系の発達について学びます。呼吸器の働きについて学びます 第10回 運動（スポーツ）外傷(1)/ 運動（スポーツ）時の外傷における救急処置について学びます 第11回 運動（スポーツ）外傷(2)/ 運動（スポーツ）時の外傷における救急処置について学びます 第12回 感染症/感染症の種類、感染経路、感染症予防の手段について学びます 第13回 健康な生活設計/薬物、アルコール、たばこと健康について学びます 第14回 ストレスと健康/ストレスの身体への反応、運動とストレスの関係について学びます 第15回 まとめ/授業のまとめと振り返りを行います		
評価方法 ※	小テスト（40％）、提出物・課題（40％）、授業への取り組み（20％） ※提出された提出物・課題・小テストは、授業内で返却します。なお、コメントカードなどで頂いた質問は、次回の授業冒頭で紹介、返答いたします。		
評価基準			

テキスト	教科書の指定はないが、毎回資料を配布する
注意事項	■予習 具体的な準備学習内容は、前時授業内で次回のレジメを配布し詳説します。 想定予習時間：120分 ■復習 毎授業配布するレジメをもとに、再学習し深化させること。 想定復習時間：120分
授業シラバス	https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/Syllabus.asp?cdga=2&nendo=2022&cddl=3200

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	中国社会研究Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	木2
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	〈授業の概要と目的〉 この講座では、中国の名作映画、「生きる」（カンヌ国際映画祭受賞作品）と「あの子を探して」（ベネチア映画祭受賞作品）の二本の映画を鑑賞し議論し分析することによって、受講生が中華人民共和国の成立以降、党の政策の変化に伴い中国社会がいかに変化してきたかについて理解を深めることを目指す。 〈必要な準備学習〉 予習：提示されたキーワードを調べ、自ら主体的に映画で描かれる社会背景を理解するために必要だと思われる知識 を調べてくる。（2時間） 復習：ハンドアウトや参考資料を見返し、授業で得た知識や理解した内容の確認をする。（2時間） The aim of this course is to provide students with a deeper understanding of the changes in Chinese society along with the transformation of the party line after the founding of the People's Republic of China. We will watch, analyze, and discuss the following two Chinese films: "HUOZHE" and "YI GE DOU BU NENG SHAO".		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	課題への取り組み20%、授業への貢献度20%、レポート60%		
評価基準			
テキスト			
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。		
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	社会言語学Ⅰ	単位数 ※	4
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	火4・木2
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	本講義では、社会言語学という学問領域が扱うさまざまなテーマについて日本語で講義する。 前半では、言語のバリエーション（変異）の諸相を、地域、社会階層、エスニシティ、性、年齢などの社会的要因を切り口にして取り上げる。特に「世界の英語」に焦点を当て、「神田外語大学×東京外国語大学英語モジュール」を使って世界の多様な英語について解説する。授業では、自然会話や朗読の録音、映画、音楽などを視聴して、さまざまな言語のバリエーションに親しむ。また、言語変化のメカニズムについて解説する。 後半では、言語の規範、言語差別、女性と言語、役割語、言語接触、方言（危機言語）の復活、方言娯楽などを取り上げる。最後に言語政策に焦点を当て、日本語の言語実体計画(新常用漢字表の成立、外来語の言い換えなど)、カナダの公用語政策とケベック州のフランス語化政策について解説する。		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	授業への参加・貢献度（質問に対する回答、発言など）、数回のリアクションペーパー、短い課題：60% 期末テスト：40% ※期末テストは、対面で行う。持ち込み不可。		
評価基準			
テキスト			
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。		
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	英語統語論ⅠA	単位数 ※	4
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月3・木3
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	文を組み立てる際に、話し手が暗黙のうちに従っている規則性、「言語の仕組み」とはどのような成分から構成されているのか、またこの仕組みを律する法則とはどのようなものか、といった問題について考察する。具体的には英語と日本語の文構造について学ぶが、その過程でデータに基づき仮説を立てそれを検証する論証方法、生成文法の思考法を理解することに努める。 The goal of syntax is to characterize the (largely unconscious) knowledge that enables speakers of a language to form sentences. This course concentrates on how sentences are structured and explores the laws governing various syntactic phenomena. We will analyze data (mostly) from English and Japanese to understand the core concepts, methodology, analytical and abstract thinking that are necessary to do formal linguistics.		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	中間試験（30%）、期末試験（30%）、練習問題（40%）によって評価する。		
評価基準			
テキスト			
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。		
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	児童英語教育論A	単位数 ※	4
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月4・木3
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	この講義は将来的に早期英語学習者を対象とする英語教師になるために、必要な理論や教育現場での実践活動を概観し、模擬授業などの実技演習にも取り組む。特に我が国における早期英語教育の全体像と新学習指導要領における小学校外国語活動と外国語科を理解し、自ら授業案を立案・指導できるようになるための入門基礎科目として関連内容を幅広く扱う。 In completing this course, each student will be able to: - Describe the policies, related theories, and the significance of the goals of foreign language education to young learners in Japan and teaching English at public elementary schools. - Understand teaching methodologies and the roles of teachers. - Develop teaching materials. - Plan and demonstrate English lessons in team-teaching for the target age of Japanese children.		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	レポート・クイズ 30% 実技演習 40% 授業への貢献 30%		
評価基準			
テキスト			
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。		
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	応用言語学A	単位数 ※	4
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	火・3時限
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	<授業の概要> 応用言語学は、日常生活や社会における言語に関連した様々な問題を扱い、問題解決に取り組む学際的な学問である。その概論となる本講義では、言語と教育の有機的な関係を念頭に置き、文法、語彙、四技能の習得、教室談話、社会言語学、心理言語学、言語評価等様々な研究を概観し、応用言語学の基礎知識を身に付けていく。同時に、履修者は、自身の日常生活においてことばが関係する諸問題を解決・改善する方法を考え、言語意識を高めることで、国際社会に貢献できる教養の育成を目指す。主に英語を対象言語とした研究を扱うが、本講義から得る知識や知見は他の言語の教育・学習にも応用できるであろう。 将来、英語教育やその他外国語教育に携わろうとしている学生や日常生活におけることばの役割に興味のある学生を対象とする。 <授業形態> 協調・協働を重視する。毎回の授業で、前回授業の内容の復習ディスカッションから始め、そこから新しい内容の講義を始める。リーディングの内容は、グループで担当個所を決め、他のグループに説明するジグソーリーディングを行う。 <必要な時間> 予習：教科書や指定された論文を読む（2時間） 復習：毎回の授業について内省文を書く、主要概念の整理（2時間）		
到達目標	・言語の基本的な性質を理解する。 ・応用言語学の基本的概念と理論を理解する。 ・日常生活、特に教育現場におけることばの役割に関する理解を深め、問題の解決や改善に取り組むことができる。特に、自身の外国語学習・教育を見直し、評価し、改善策を考えることができる。		
授業内容			
授業形態	対面		

評価方法 ※	リフレクション（20％）、中間試験（30％）、 口頭発表（20％）、期末レポート（30％）
評価基準	
テキスト	
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（ https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/ ）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。
授業シラバス	

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	認知発達と英語教育A	単位数 ※	4
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	火・4時限 木・4時限
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	本講座は、ことばの習得において重要な役割を担う乳幼児期・児童期に、「子どもの認知と言語がどのように発達するか」を学ぶことを目的としている。授業では、認知と言語の発達に関する種々の側面（概念の形成、語彙の発達、脳の機能と発達、文法の理解の発達、発達障害、心の理論など）を科学的な研究に基づいて学ぶ。さらにPiagetの発達理論やVygotskyの社会文化理論などの諸理論より、学習がどのように成立するか学ぶ。 本講座において学生は、以上の認知発達の過程と特徴、および、子どもの心理と言語習得に関する知識を修得すると同時に、これらの知識をどのように英語教育の指導方法や指導技術に応用できるかをともに考える。		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	期末テスト	40%	
	レポート	40%	
	宿題	20%	
評価基準			
テキスト			
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（ https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/ ）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。		
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部	
科目名 ※	Issues in Second Language Acquisition B		単位数 ※	4
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	火・1時限、木・4時限	
キャンパス※	幕張キャンパス		教室※	未決定
学修分野				
授業目的 ※	"This course provides students with an overview of theories and issues related to individual differences (IDs) in second language acquisition. It will begin by considering some of the background, theory, and classifications useful to understanding IDs. Age, as a widely-recognized factor, will be reviewed. Then, a range of IDs in second language learning will be described, based on research. These include cognitive, motivational, and affective variables which influence outcomes for all learners. Lastly, challenges that only some learners face, such as dyslexia, will be introduced. Course participants will enhance their familiarity with concepts, theories, and empirical findings through in-class discussion and quizzes. They will also propose and undertake a project on a topic of their own interest, which they will report on orally and in writing.			
到達目標	Student learning outcomes Students in this course will: 1. Consider their personal understanding of ""self"" by sharing a definition of it 2. Broaden their academic reading ability by reading a variety of authentic materials (e.g., encyclopedia articles and interviews) 3. Check their understanding of these reading materials using online quizzes 4. Build their communication skills by responding to questions about the course material during discussions 5. Develop their English vocabulary, based on course readings and discussions 6. Acquire familiarity with major strands of IDs research, including cognitive, motivational, and affective facets 7. Engage with a specific topic in IDs by planning and conducting their own research on a topic related to the course 8. Improve their overall academic skills by reporting on their research orally and in writing"			

授業内容	
授業形態	対面
評価方法 ※	1. Discussions 20% 2. Unit quizzes 20% 3. Project proposal 15% 4. Project summary 10% 5. Project report 15% 6. Project paper 20%
評価基準	
テキスト	
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（ https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/ ）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。
授業シラバス	

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	Ways of Learning English A	単位数 ※	4
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	月2・木4
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	Many of you have studied the English language for many years, but what is the best way to improve your skills? Many of you say that you want to improve your English, but what in areas of your English language learning do you feel you need the most improvement? What is your current language learning self-development plan and how often do you stick to it? What makes someone a proficient English speaker and listener, or a proficient English reader and writer? Does sounding like a native speaker of English really matter in today's world? How aware are you of various technological tools to support your language learning? How does teaching English to someone help you to learn more about English? These issues will be explored in depth in this course. In this term, you will first learn in more detail what it takes to be a proficient speaker, listener, writer and reader in a foreign language. You will also create a detailed and specific plan of improvement to further develop your language proficiency over the term, and report regularly on your progress. You will get experience in creating language learning materials for your classmates. You will also better understand language learning through lesson planning and teaching with others, incorporating technology when needed. Finally, you will submit a final language learning "E-portfolio" developed using Google Documents that reports on all of your language learning successes, failures and self-reflections over the entire term. Overall, the course is not only designed to enhance your awareness about how to make the best of your language learning, but to help you develop practical goal-setting and planning skills that can be used throughout your everyday lives. .Materials will be provided by the professor. The course is ideal for second-year to fourth-year students who want to continue to improve their ongoing goal-setting and planning skills. First-year students will be encouraged to take this course when they become sophomores. Details regarding class structure will be discussed on the first day.		

到達目標	By the end of this course, you will be able to... i) articulate and organise a specific plan of action to improve your English proficiency based on the SMART framework (specific, measurable, achievable, relevant, time-bound) ii) use terminology relating to English language pedagogy/TESOL to explain your language proficiency iii) provide practical and useful feedback and support to others in their language learning efforts iv) develop interpersonal collaboration skills through the practice of lesson planning and teaching v) enhance your report writing skills vi) develop your goal-setting and planning skills vii) use the SWOT Analysis framework to effectively identify your individual strengths and weaknesses, as well as external opportunities and threats to the achievement of your goals
授業内容	
授業形態	対面
評価方法 ※	Final Language Learning E-Portfolio (30%) Teaching / Learning Demonstration (20%) Attendance and Classwork (30%) Homework (20%)
評価基準	
テキスト	
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。
授業シラバス	

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	韓国経済論Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	木4
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	韓国経済論は現代韓国経済の全体像を捉えることがことが目的である。 そのために韓国経済論Ⅰ（前期）では韓国の経済発展の特徴を紹介しつつ、 1945年以降の韓国経済の歩みと産業構造や貿易構造、労働市場の変化について紹介する。 引き続き韓国経済論Ⅱ（後期）では金融システムや金融業界の再編、家計所得と資産、財閥や新興企業グループの特徴、財政や社会保障の現状に触れてから、全体のまとめとして、韓国型経済システムの形成や展開、変貌について紹介する。 韓国経済の全体像を捉えるためにも前期と後期を合わせて履修することを勧める。		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	レポート80％、授業への参加度20％		
評価基準			
テキスト			
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。		
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	帝京平成大学	学部・学科名 ※	健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科	
科目名 ※	スポーツ生理学		単位数 ※	2 単位
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	木曜日 5 限	
キャンパス※	千葉キャンパス		教室※	6-202
学修分野				
授業目的 ※	身体の仕組みや身体の機能について理解する生理学の中でも、スポーツを行った際の身体の変化や機能について理解する分野がスポーツ生理学です。			
到達目標	この授業では、「スポーツを実践する際の身体の変化や身体の仕組みについて、運動・スポーツ指導者として必要なスポーツ生理学的知識」を身に付けてもらうことを目指します。また、各自の健康づくりおよびスポーツパフォーマンス向上のプログラム作成のための基礎知識習得を目指します。			
授業内容 授業形態 ※	原則として各回ごとにテーマを設定して講義を行います。また興味のあるテーマやキーワードについてグループワークを実施、またはグループごとに発表なども実施します。スポーツに対する様々な身体の生理的な反応や適応についての機序を学びます。トレーニングプログラムは、持久力や筋力の向上および効果的なダイエットや健康の維持・増進など、様々な目的に応じて作成されます。スポーツ生理学では、適切なトレーニングプログラムを作成するための基礎になる知識について学びます。			
評価方法 ※	定期試験70％、授業内での小テストおよびレポート課題などの平常点30％			
評価基準				
テキスト	適宜プリントを配布する予定です。			
注意事項				
授業シラバス				

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	第二言語習得研究A	単位数 ※	4
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	火・5時限 木・5時限
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	<授業の概要> 第二言語習得研究は、人が母語以外の言語をいかにして学ぶのかを探求する研究分野である。言語学と心理学のみならず、母語習得、脳科学、教育学、社会学、人類学の知見を取り入れた学際的分野と言える。本講義では、これまでに行われた主な研究を概観し、個人差を生み出す可能性のある様々な要因を考察する。また、外国語学習成功者の事例を考察し、高度外国語運用能力を身につけるための学習方略の使用を考察する。 <授業形態> 第二言語習得研究でその重要性が言われている理論を実践するため、協調・協働を重視する。毎回の授業で、前回授業の内容の復習ディスカッションから始め、そこから新しい内容の講義を始める。リーディングの内容は、グループで担当箇所を決め、他のグループに説明するジグソーリーディングを行う。 <必要な時間> 予習：教科書や指定された論文を読む（2時間） 復習：毎回の授業について内省文を書く、主要概念の整理（2時間）		
到達目標	<授業の目的と到達目標> ・高い言語運用能力とはどのようなものか、またそうした能力はどのように習得されるのかといった問いに対して科学的な説明ができるようになること。 ・様々な理論や概念を用いて、受講者が自らの言語学習経験を内省し、第二言語学習を多面的且つ複眼的に考察できる。 ・自身の学習経験を振り返り、第二言語習得理論や概念を用いて意味付けができる。		
授業内容			

授業形態	対面
評価方法 ※	授業内省文（15％）、中間試験（30％）、ワークシート（15％）、復習発表（10％）
評価基準	
テキスト	
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（ https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/ ）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。
授業シラバス	

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	児童英語指導法（Reading & Writing）A	単位数 ※	4
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	火・5時限 ※ ・5時限
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	このクラスでは、歌や体、絵本を使って、子どもに英語の読み書きを教える方法を実践的に学ぶ。まずは音素認識能力を高める活動、そしてアルファベットの文字と音を一致させるフォニックスの基礎とその指導の方法を学ぶ。 絵本を活用した活動では、子どもの心の発達や認知能力を育成することを目指すとした読み聞かせ Read aloud、基礎的な語や文の読み方の指導を目的としたShared readingの方法を実践を通して学ぶ。さらに、絵本の内容を理科や社会などの他教科と連携させたり、発展させたりしながら行う読み書きの指導方法を学ぶ。 絵本を読み聞かせるにあたり、読み手は正確に英語を発音することが子どもの言語習得に重要である。従って、履修者には徹底的な発音訓練を行い、また子どもへの発音指導の方法も扱う。		
到達目標			
授業内容 授業形態	対面		
評価方法 ※	モデルレッスン（実技） 30% レッスンプラン 40% 宿題 30%		
評価基準			
テキスト			
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認してください。		
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	教育英文法基礎B	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	木 5
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	<Course Descriptions & Objectives> 本講義は、中学校・高校の教員を志す学生を対象とする。基礎的な文法項目や文法用語を理解し、その運用能力を伸ばすと共に、教室での様々な言語活動を行いながら、それを振り返ることで、効果的なアプローチや指導法を考えていく。 This course is designed for students who are taking English teacher-training courses. In this course, students will develop their grammatical competence and gain a better understanding of aspects of English grammar commonly taught in secondary schools. Students will not only familiarize themselves with the basic terminology of English grammar, but also learn a variety of approaches to teaching and learning grammar using examples from classroom practices. Through actually engaging in communicative activities, students will reflect on and discuss effective pedagogies for grammar instruction.		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	- Class participation & contribution: 20% - Grammar comprehension check: 20% - 模擬授業: 20% - Reflective final report: 20% - Teaching Ideal File: 20%		
評価基準			
テキスト			
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。		
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	日本文学論Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	木 5
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	本講義では日本近代に注目し、当時＜西洋の衝撃＞をいかに受けとめ、葛藤と格闘し、どのような文学作品を生み出すに至ったかを、文学作品の読みと解釈分析を通して理解することを目的とする。 日本近代において、西洋近代との出会いは大きな近く変動であり「西洋の衝撃」として受けとめられた。それは当時の人々に西洋への強い憧憬や引力を生み出すと同時に、日本的な伝統や慣習的な考え方との間に生じる深刻な葛藤との闘いでもあった。西洋近代の思想構造とは一体どのようなものなのか、そしてそれに抵抗せざるをえなかった内面とは？本授業で取り上げる文学作品の解釈を通して文学的価値（描写力、想像力、喚起力、表現力など）の分析を行いながら、日本にとっての＜近代＞の意味を問い直したい。		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	授業への参加度・貢献度 20% プレゼンテーション 30% 期末試験 50%		
評価基準			
テキスト			
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。		
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	神田外語大学	学部・学科名 ※	外国語学部
科目名 ※	東南アジア史Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	木 5
キャンパス※	幕張キャンパス	教室※	未決定
学修分野			
授業目的 ※	本講義では、多様な政治的・社会的・文化的文脈が交錯する土地としての東南アジアを、さまざまな制度や秩序の移り変わりの歴史という観点から考察します。前近代からを考察の対象としますが、主として焦点をあてるのは、西洋列強による植民地支配を経験し、民族独立運動を経て自前の国民国家を形成していく近現代です。東南アジアの近現代をテーマにつくられた映画や小説、文献などを題材に、さまざまな支配者層、指導者たちによってもたらされた／作り出された多様な制度や秩序が、東南アジアの社会と、そこに生きる人々の考え方や社会空間のあり方にどのような作用をもたらしたのかを考えていきましょう。		
到達目標			
授業内容			
授業形態	対面		
評価方法 ※	期末レポートの成績、および授業への貢献度（グループディスカッションおよびプレゼンテーションでのプレゼンスを含む）、リアクションペーパーの内容をもとに、総合的に評価する。		
評価基準			
テキスト			
注意事項	この表はシラバス情報の一部となります。履修を検討される方は、必ず本学のホームページ上（https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/target/student/）からシラバス検索で該当科目を確認をしてください。		
授業シラバス			

※は必須記入事項